【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公表番号】特表2008-511317(P2008-511317A)
【公表日】平成20年4月17日(2008.4.17)
【年通号数】公開・登録公報2008-015
【出願番号】特願2007-529748(P2007-529748)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｐ　21/06　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　 1/30　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/55　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｐ　21/06
Ａ２３Ｌ　 1/30　　Ａ
Ａ６１Ｋ　37/64
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　 9/12
Ａ６１Ｋ　35/20

【手続補正書】
【提出日】平成20年8月29日(2008.8.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アンギオテンシン転化酵素（ACE）阻害活性を有するタンパク質加水分解物を酵素的に生産するための方法であって、第１反応工程において広域スペクトルエンドプロテアーゼでベーターラクトグロブリン（BLG）含有基質を処理すること、引き続き第２反応工程においてプロリン特異的エンドプロテアーゼで処理することによって特徴付けられる方法。
【請求項２】
前記基質が、乳漿タンパク質濃縮物（WPC）であることを特徴とする、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
乳漿タンパク質濃縮物（WPC）が、ベーターラクトグロブリン（BLG）を富化されたWPCであることを特徴とする、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記基質が、少なくとも25％のBLGを含むことを特徴とする、請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
前記基質が、少なくとも35％のBLGを含むことを特徴とする、請求項４に記載の方法。
【請求項６】
前記基質が、少なくとも60％のBLGを含むことを特徴とする、請求項５に記載の方法。
【請求項７】

広域スペクトルエンドプロテアーゼが、セリンプロテアーゼ、メタロプロテアーゼ又はアスパルテートプロテアーゼであることを特徴とする、請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
広域スペクトルエンドプロテアーゼが、微生物プロテアーゼであることを特徴とする、請求項１～７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項９】
微生物プロテアーゼが、バチルス・リケンフォルミス（Bacillus lichenformis）又はバチルス・スブチリス（Bacillussubtilis）から単離されたプロテアーゼであることを特徴とする、請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
プロリン特異的エンドプロテアーゼが、プロリン特異的エンドプロテアーゼ（PSE; EC 3.4.21.26）であることを特徴とする、請求項１～９のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１１】
第１反応工程が、約10～約15％の加水分解の程度が到達されるまで行なわれる、請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１２】
第２反応工程が、少なくとも0.5時間の間行なわれる、請求項１～１１のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１３】
第２反応工程が、少なくとも1時間の間行なわれる、請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
第２反応工程が、少なくとも2時間の間行なわれる、請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
第２反応工程が、少なくとも3時間の間行なわれる、請求項１４に記載の方法。
【請求項１６】
第２反応工程が、多くとも24時間の間行なわれる、請求項１～１５のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１７】
第２反応工程が、多くとも16時間の間行なわれる、請求項１６に記載の方法。
【請求項１８】
第２反応工程が、多くとも10時間の間行なわれる、請求項１７に記載の方法。
【請求項１９】
アンギオテンシン転化酵素（ACE）阻害活性を有するタンパク質加水分解物であって、請求項１～１８のいずれか一項に記載の方法に従って得られうるタンパク質加水分解物。
【請求項２０】
請求項１９に記載の加水分解物を含む組成物。
【請求項２１】
前記組成物が医薬組成物又は食品若しくはし好食料である、請求項２０に記載の組成物。
【請求項２２】
前記組成物が、液体製品又は固形製品である、請求項２０又は２１に記載の組成物。
【請求項２３】
前記液体製品が乳製品若しくはフルーツジュースである、請求項２２に記載の組成物。
【請求項２４】
前記固形製品が粉末である、請求項２２に記載の組成物。
【請求項２５】
請求項２０～２４のいずれか一項に記載の組成物を含む、ACE活性を阻害するための剤。
【請求項２６】
請求項２０～２４のいずれか一項に記載の組成物を含む、高血圧の症状を減少するための剤。

【請求項２７】
請求項２０～２４のいずれか一項に記載の組成物を含む、血圧を下げるための剤。
【請求項２８】
請求項２０～２４のいずれか一項に記載の組成物を含む、高血圧の発生を予防するための剤。
【請求項２９】
哺乳動物のための剤である、請求項２５～２８のいずれか一項に記載の剤。
【請求項３０】
前記哺乳動物がヒトである、請求項２９に記載の剤。
【請求項３１】
前記ヒトが高血圧又は高血圧の増加された危険を有するヒトである、請求項３０に記載の剤。
【請求項３２】
前記剤が経口投与剤である、請求項２５～３１のいずれか一項に記載の剤。